



小川一馬 議員
おがわかず ま

成田空港周辺地域としての 基盤整備事業について

問 成田空港の機能強化に伴う現在の進捗状況について伺います。

答 総合政策部長 成田空港の年間発着回数を50万回まで拡大することが可能となるC滑走路の新設や、B滑走路の延伸など、令和10年度末の供用開始を目指し、現在は用地取得を進めつつ、併せて埋蔵文化財調査や測量調査などを実施している状況だと聞いています。

問 空港周辺地域として、各地区からの要望などについて伺います。

答 総合政策部長 地区からの要望として、平成30年9月に蓮沼地区区長会、平成31年3月に松尾地域本柏区より、地区交付金の増額、使途の拡大、空調機器設置事業の取組などが上げられています。

なお、その結果、令和元年度には、質問書の回答および空調機器設置事業の対応が行われ、令和2年度分からは、地区交付金の増額を実施しています。

問 成田空港周辺9市町の一つである、我が山武市と空港との関わりについて伺います。

答 市長 空港の利便性を最大限に生かし、移住定住や観光対策を推進していきます。成田空港とは、緊密な関係を保っており、機能強化を契機に、これまで以上に空港との連携を密にしていきたいと考えます。

問 成田空港へのアクセス道路である県道成田成東線の改善計画について伺います。

答 建設環境部長 県に確認したところ、現在、早船地区にあるモータープール付近から、金尾交差点に向けて、道路改良事業を継続的に実施しているとの回答がありました。



山武市総合計画・重点分野 （道路網の整備）について

問 避難道路整備計画について、それぞれの進捗状況を伺います。

答 建設環境部長 緑海地区・上横地地区・蓮沼地区の3事業についてお答えします。

はじめに、緑海地区の避難道路は、総延長約3km、うち未整備区間100m。こちらについては、今年度末の完成を見込んでいます。

次に、上横地地区の避難道路は、総延長約1.8km、うち未整備区間300m。完成予定は、令和5年度末を見込んでいます。

最後に、蓮沼地区の避難道路は、総延長約1.6km、うち未整備区間500m。完成予定は、令和4年度末を見込んでいます。

問 合併から現在まで、各地区からの道路・水路関連の要望などの進捗状況について伺います。

答 建設環境部長 今年3月末現在の未着手要望件数は、道路改良工事が105件、舗装新設工事が102件、水路工事が96件となっています。

問 未着手の要望を今後処理するために、どのくらいの予算と期間がかかるか伺います。

答 建設環境部長 すべての要望を実施した場合の概算額は、道路関連工事で約20億円、水路関連工事で約6億円と見込んでいます。

期間については、現在の予算規模で考えますと、道路関連工事で10年から12年、水路関連工事については、工事期間の設定などで制約が必要となる箇所が多いため、道路関連工事の倍の期間を要するものと思われます。

問 職員では対応しかねる案件も多々あると思いますが、そのような案件や問題箇所について市長は、把握されているか伺います。

答 市長 問題解決について、担当者から、現状の報告を受け、状況を精査し、解決方法を検討したうえで、問題解決に取り組んでいるところです。

問 木戸川に新しい橋を架けることを、私は合併以来、質問・要望していますが、飯岡一宮線バイパス事業についての市長の考えを伺います。

答 市長 ご質問の事業は、九十九里海岸の地域活性化のため、また安心安全な交通機能の向上に、大きく寄与する重要な事業と考えています。

問 早期完成を望む市民の声をしっかりと県へ伝えていただきたいと思います。市長の思いを伺います。

答 市長 今定例会終了後には、県へ橋の要望活動に行く計画を立てていますので、しっかりと要望したいと思っています。